



難しいけど… 楽しい!!

～オリンピック・パラリンピック教育推進事業～

東京2020オリ・パラに向けて、児童生徒の関心を高めようと昨年度から行っているこの事業。12月10日には、東原小に市まちづくり大使のパラリンピアン・眞田卓選手を招き、講演会と車いすテニス体験が行われました。

目をキラキラと輝かせた子どもたちに向けて、眞田選手は「東京2020パラリンピックでは金メダルを勝ち取り、みんなに見せに来たい」と抱負を語ってくれました。



わぁ！ いい匂い!!

～学校給食にオーストリア料理提供～

日本とオーストリアの国交150年を記念し、市内の小中学校の給食に提供されたオーストリア料理。11月27日、青木小学校では4年生を対象に、本市国際交流員による食育の授業が行われました。その後の給食で、「チキンシュニツェル」や「ガーリッククリームシチュー」などのおかずが並ぶと、教室には食欲をそそるいい匂いが。安瀬瑠亜さんは「はじめてオーストリア料理を食べた。スープが一番おいしい」と笑顔で話してくれました。



議場に響く 美しいハーモニー

～第13回 議場Xmasコンサート～

市民の皆さんに議会をもっと身近に感じてもらうと年2回開催されている議場コンサート。11月25日には、混声合唱団「かでんつ」が美しい歌声を議場に響かせました。

「もろびとこぞりて」や「アベ・マリア」など全6曲が披露されると、会場は一足早いクリスマスモードに。傍聴席には40人ほどの市民が駆け付け、コンサートの終わりには名残を惜しむかのように温かい拍手を送っていました。



雨にも負けず五穀豊穡を願って

～嶽山箒根神社 梵天上げ～

11月23日、宇都野地区の嶽山箒根神社例大祭で、市の無形民俗文化財に指定されている梵天上げ(梵天まつり)が開催されました。長さ7～8mもある孟宗竹に真っ白な垂を結んだ梵天を、割れるまで激しく地面に叩きつけて、五穀豊穡を願うこの祭り。冷たい雨が降る中、今年も6本の梵天が神社に奉納されました。参道では、威勢の良い掛け声と竹が地面を叩く音の迫力に、多くの見物客から拍手が送られました。



映画に浸かった1日

なすしおばら映画祭

トライアル

11月30日、フォーラム那須塩原で開催された「なすしおばら映画祭」。市まちづくり大使で俳優の川岡大次郎氏がプロデュースし、映画ファンや映画関係者など多くの人が会場を訪れました。
 本市出身の映画監督・相馬寿樹氏の作品や、全編が市内で撮影された「HARMONY」など本市にゆかりのある映画作品を数多く上映。放映後の監督や出演者によるゲストトークでは、撮影の裏側などの貴重なエピソードも次々と飛び出し、観客たちは食い入るように聞きっていました。映画祭を締めくくるシンポジウムには、高崎映画祭でプロデューサーを務める志尾睦子氏や「全裸監督」で話題の映画監督内田英治氏などが登壇。来年度の本開催に向けた熱い議論が交わされました。



なすしおばら
映画祭
Trial held



1映画祭の開始前、受付には行列が 2シンポジウムには全国の映画祭の立役者たちが登壇。急遽、行定勲監督も加わり白熱した議論に 3本市出身の相馬監督も登場。フォーラム那須塩原には頻繁に通っていたようで、凱旋上映に感動もひとしお 456受付や会場の外には、映画祭を支えるボランティア 7会場は多くの観客の熱気に包まれた

8プログラムの間には市が作成したパブリカの動画を上映

パブリカの動画は、市公式Youtubeでも公開中です。

